

作成日：2021年3月26日

改正指针对応「研究概要の公開原稿」

データ統合のための妥当性研究で収集されたアンケート・生体試料・食事記録などの情報を用いた解析研究【第2版】

### 1. 研究の対象の方

JPHC-NEXT プロトコール地域の5地域（秋田県横手市、長野県佐久市、茨城県筑西市、新潟県村上・魚沼地区にお住まいで、2012～2013年に行われた、データ統合のための妥当性研究の調査に同意いただいた方、計253名です。

### 2. 研究目的・方法

本研究計画は、2012年～2013年にかけて、既に行われたデータ統合のための妥当性研究（以下、統合妥当性研究）で収集されたアンケート・生体試料・食事記録などのデータを用いた解析研究に関する研究計画書です。本研究では、食事や栄養の妥当性を評価し、将来的に、JPHC-NEXT プロトコール地域内のコホート研究において活用され、特に食事や栄養と健康状態との関連解析に応用する可能性の検討を行います。

すでに行った①アンケート調査、②詳細な食事記録調査、③収集された血液検体、尿検体からの栄養素などの測定結果、などの電子化された情報を用いて解析を行います。これらの調査データを匿名化した集団として解析し、生活習慣病における予防要因・危険要因を明らかにするために、より大きな集団で行う解析に応用可能か、必要な検証を行うことを目的としています。

国立がん研究センター予防研究グループが研究事務局を担当し、解析にあたる人員は、医師・大学教員をはじめとする予防医学などの知識のある研究者です。

研究実施期間は2030年3月31日までを予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

生活習慣や健康状態に関するアンケート  
詳細な食事記録調査、汁物塩分測定結果  
血中および尿中の栄養素などの測定結果  
味覚測定結果

### 4. 外部への試料・情報の提供・公表

提供

第三者がファイルを容易に閲覧できないようパスワード付ファイルで保存し CD 等にて受取人の手元に確実に届くことを保証する仕組み（簡易書留など）を用いて、統合妥当性研究中央事務局(国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ)から外部の共同研究者へ郵送します。

## 公開

研究で得られた成果は国民へ広く情報を還元するために、ホームページで公開しますが、集団の値が公開され、個人を特定できるような情報は公開されません。

## 5. 研究組織

研究代表者・研究責任者: 澤田典絵

(国立がん研究センター 社会と健康研究センター コホート研究部 室長)

研究事務局責任者: 井平光

(国立がん研究センター 社会と健康研究センター コホート研究部 研究員)

研究者

津金昌一郎、井上真奈美、岩崎基、澤田典絵、山地太樹、森渚、片桐諒子(国立がん研究センター 社会と健康研究センター 予防研究グループ)、磯博康(大阪大学)、中村和利、田中純太(新潟大学)、石原淳子(麻布大学)、高地リベカ(奈良女子大学)、野田愛(順天堂大学)、丸山広達(順天堂大学・愛媛大学)、黒谷佳代(国立健康・栄養研究所)

## 6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、対象者ご本人、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も対象者ご本人に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター 予防研究グループ

TEL 03-3547-5201 (内線 1946) , FAX 03-3547-8578

e-mail: jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp

研究事務局責任者：国立がん研究センター 予防研究グループ 井平光

研究代表者・研究責任者：国立がん研究センター 澤田典絵